

# 伊予三島ロータリークラブ



伊予三島RC30周年記念時計塔  
伊予三島運動公園「産土の塔」

## 世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

*Kawii*

2015～2016年度国際ロータリー会長

No. 9

平成 27.8.28  
第 2949 回

## 国際奉仕委員会

『ロータリー国際奉仕』について

久米良樹



国際奉仕委員会の時間ということでお話をさせていただきます。

本日、私がスピーチの場をいただいたわけですが、私自身、国際奉仕ってなに？というレベルでしたので、この機会にロータリー国際奉仕について勉強してみました。

まずは、国際奉仕活動の歴史について調べてみました。そもそも、初期のロータリーには今日考えられるような人道的奉仕活動を主体にした国際奉仕の概念はなかったようです。

まずは、1900年初頭ころ、アメリカ以外にロータリーが拡大したことを受けて、ロータリアン同士やロータリアン子弟の相互訪問が行われ、これが外国のクラブ同士との交流に発展したようです。

どうやらスタートは1917年頃のように、第一次世界大戦に参戦してアメリカからヨーロッパに派遣されたロータリアン子弟の兵士に対して、イギリスのロータリアン家庭がホストをしたという記録が残っています。

アメリカ、イギリス、アイルランド、カナダのロータリークラブがヨーロッパ各地の避難民に対する物資援助をしたり、傷病兵に対する慰問、終戦で復員してくる軍人に対する、ボランティア活動などを行いました。

同じく1917年、当時のロータリー会長、アーチ・克蘭フ氏が、アメリカ・ジョージア州アトランタで開催された国際大会で、「ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で、慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何か良いことをしようではないか」と提案して、「アーチ・克蘭フ基金」の設立が採択されました。

最初の寄付はカンザスシティ・ロータリークラブから寄せられた26ドル50セントでした。この年に、団体奉仕と金銭的奉仕を旗印にしたライオンズクラブが誕生したことが、この基金創立のきっかけになったという見方をする人もいます。

なお、このアーチ・克蘭フ基金は1928年にロータリー財団と名称が変更され、現在に至っています。

1921年にはロータリーの国際大会が、初めてアメリカを離れて、スコットランドのエジンバラで開催されたことを記念して、「奉仕というロータリーの理想に結束した職業人の世界的友好による理解、善意および国際的平和の増進」という国際奉仕の考え方が発表され、それを綱領の中に加えるように提案されましたが、綱領改正そのものが否決されたため、翌年1922年のロサンゼルス大会に持ち越され、綱領の第6項目として正式に明文化されました。ただ、ロータリー創立当初から、ロータリアンには、友情と親睦の絆によって国際理解を深め、世界の恒久的な平和を実現しようという熱い思いがありました。一人一業種と例会出席という、当時としては過酷なまでの条件をつけ、さらに女性の参加をも拒んだ一方で、あえて、国籍や宗教上の制限を設けず、広く世界に門戸を開いた理由もここにあり、その精神は脈々として今日に受け継がれています。

1939年には第二次世界大戦が開戦、戦争当事国のロータリークラブとロータリアンは、共にその国の法律を順守することが要求されますから、相手国のロータリアンと深い友情で結ばれることは事実上困難となります。

世界の恒久的な平和を願うロータリーの国際奉仕の理念も、有事の時には、運動自体を行うことが出来なくなり、第二次世界大戦のときには、日本、ドイツ、イタリアなどのロータリークラブが解散を余儀なくされました。

しかし、日本ではクラブの名称を変えながら例会が続けられていましたし、例会が中止された国でもロータリーの精神は消え去ることなく残り、終戦後ただちにその活動が再開されています。

世界平和を実現するために、ロータリーが深く関与した特筆すべき活動として、国連の設立と国連憲章の制定が挙げられます。

1945年、サンフランシスコで行われた国連設立準備会には、アメリカ合衆国国務省から要請を受けて、RIから11名もの顧問団が参画し、国連憲章の原案作成に当たりました。

その会合に出席した世界各国の代表のうち、7名の委員長と20名の代表がロータリアンであり、代議員を合わせると実に49名のロータリアンがその作業に参加しています。

1962年、アジアから初めてのRI会長になった、インドのニッティシ・ラハリーは「世界のどこかの片隅に、一人でも不幸な人がいる限り、我々ロータリアンは幸せになることはできない。」と述べて、世界社会奉仕の概念を提唱しました。当初は文盲対策、スラム街対策などが主に実施されましたが、日本における世界社会奉仕活動の第1号は、第365地区によるインドの救済活動、つまり癩病患者支援でした。なお、当時の第365地区はネットで調べますと、現在の地区変更前のことで、福井・近畿に加え、私たち四国も所属していたようです。



次に、ロータリーにおける国際奉仕について調べてみました。

ロータリー国際奉仕には、「1. 世界社会奉仕」、「2. 国際レベルの教育及び文化活動」、「3. 特別月間と催し」、「4. 国際的な会合」、という4つの分野があります。

まず、国際奉仕の一つ目、「世界社会奉仕」についてですが、近年、発展途上国に対する人道的奉仕活動という新しい地域社会からのニーズによって、国際奉仕活動に新しい流れが生まれてきました。それが、いわゆる世界社会奉仕活動で、英語で、WCS (WorldCommunityService) 活動と称されています。

WCS活動は、国や行政が地域社会のニーズを満たせない発展途上国や開発途上国で、ロータリークラブも資金の成約等で奉仕活動が実践できない場合に、援助を海外の地区やクラブに求め、協力して奉仕を行う活動です。

この活動は、発展途上国や開発途上国に対する人道的奉仕活動という新しいニーズによって、国際奉仕活動に新しい流れを作りました。ただ一方、WCS活動がロータリーの綱領上で国際奉仕活動の一分野であると明記されていなかったために、多くの混乱や議論を生みました。結局その後、1967年には正式I国際ロータリーの常設プログラムとなり、地区とクラブはこの活動のためにWCS委員会を設置するよう推奨されています。

なお、WCS活動には3つの要件が定められています。

一つ目は、プロジェクトが人道的奉仕活動であること、

二つ目は、2か国以上のロータリアンが関与すること、

三つ目は、実施されるプロジェクトがいずれか1か国で行われること、となっています。

次に、国際奉仕の二つ目、「国際レベルの教育及び文化活動」ですが、この中にも3つのプログラムがあります。

それは、「ロータリー友情交換」「世界ネットワーク活動グループ」「国際青少年交換」の三つです。

「ロータリー友情交換」とは、ロータリアンや家族のための国際交換プログラムで、海外のロータリアンの家庭に滞在し、国際理解と親睦を深めることを目的としています。

「世界ネットワーク活動グループ」とは、趣味や職業者ボランティア活動を通じたロータリアンのグループ活動です。

もともと認定されていた世界親睦活動と、ロータリアンの職業上のグループである国際職業連絡グループが、1993年に統合されてロータリー親睦活動となりました。さらに2007年からは従来のロータリー親睦活動グループに国際的な奉仕プロジェクトをするためのグループであるアクション・グループが加わって、現在の「世界ネットワーク活動グループ」となっています。

人道主義に基づくボランティア活動が主流となってきた現在のロータリー活動の中で、ロータリー親睦活動グループは、いささか場違いな活動に見えるかもしれませんが、ロータリアン同志が友情を通じて世界の平和を目指すという目的のために、同じ趣味や職業を持つ全世界のロータリアンが親睦を深め合う重要な活動グループです。

日常の同好会活動に加えて、国際大会における友情の広場の主役としても大きな役割を果たしています。

ロータリー親睦活動グループには64のグループがあります。ネットで調べてみると、ゴルフやテニス、スキー、マラソン等いろいろヒットするのですが、中身を見てみると、どうやら外国で盛んなようで、日本では、実際にサイトが日本語で出来ている囲碁のグループしか、活動が活発には行われていないように見えました。

アクション・グループにはエイズ、失明回避、献血、災害管理と救援、マラリア対策、人口と開発、多発性硬化症、水と衛生、歯科ボランティア、マイクロクレジット、聴力喪失、人道的奉仕活動、地雷撤去、心臓手術などのグループがあり、実際のボランティア活動に当たっています。

「国際青少年交換」とは、高校生または該当する年齢の若者に外国の文化に触れ、学ぶ機会を提供するものです。この活動では、将来彼らが地域社会のリーダーとして世界平和や国際理解を深め、活躍することを期待しています。

当地区がニュージャージーの7470地区と毎年行っている「短期交換派遣学生活動」がこれに当た

ります。夏休みを使った3週間の相互派遣を行うもので、加地涼太郎君が発表された海外での経験談は記憶に新しいと思います。

次に国際奉仕の三つ目、「特別月間と催し」ですが、毎年2月を「世界理解月間」と指定し、各クラブは世界平和に不可欠な理解と親善を強調したプログラムと活動を実施するよう要請しています。

最後に国際奉仕の四つ目、「国際的な会合」ですが、ロータリアンは国際大会をはじめとするロータリーの国際的な会合に積極的に参加し、国際レベルで友情や親睦を深めることを推奨しています。

## 第2949回 例会 記録 平成27年8月28日

開会 中野 哲 会長

例会行事

国際奉仕委員会

金崎敏明 委員長

久米良樹 委員

出席報告

出席会員 (36名中) 30名

出席率 83.3%

ニコニコ紹介

新田敏晴君～長男(歯科医師)が、やっと帰って着ました。

現在一緒に診療して居ります。

少しは楽が出来そうです。

今後共よろしく願い申し上げます。

会長の時間

○定例理事会報告

・南相馬市私立小野田病院支援寄付の件について 承認 (個人的に寄付をする。)

・上期親睦家族会の件について 承認

・新入会員の件について 承認

・9月度プログラムについて 承認

9/4 SAAの時間

9/11 (夜)クラブアセンブリー

(ガバナー公式訪問前)

9/18 青少年奉仕委員会

(善行生徒表彰)

(定例理事会)

9/25 休会

9月11日プログラム予定

クラブアセンブリー

(ガバナー公式訪問前)

時間：午後6時～

場所：グランフォーレ

幹事報告

・例会変更通知

(新居浜)

①日時 9月17日(木) 移動例会

場所 新居浜カントリー倶楽部

②日時 9月24日(木) 休会

## 親睦家族旅行決定!!

ウエスティンホテルに泊まる 淡路・姫路城・赤穂方面2日間の旅

**11月7日(土)～8日(日) 1泊2日間**

●淡路人形座 人形浄瑠璃の魅力を堪能して下さい。

●世界遺産・国宝姫路城 白鷺の如く優雅なお城にウツトリ!!

●銀波荘 露天風呂と秋の味覚をお楽しみ下さい。

●イザナギ神宮 日本誕生の原点、国生みの地

多くの方の参加をお願いします。